

【内部質保証】2024年度の状況に関する全学レベルの点検結果(一覧)

評価基準

- A 十分、質保証に取り組んでいる
- B 概ね、質保証に取り組んでいる
- C 改善が必要

分野	評価結果	コメント
教育	A	<p>当該分野について、全体的に、各学部大学院・関係部署は、十分、質保証に取り組んでいると考える。</p> <p>一部、定員管理で改善する必要がある。特に、社会システム研究科は、入学者数が定員を下回っているが、志願者の研究計画書及び学術的背景を基に、指導教員候補者の選定を仲介する新たなマッチング制度を導入し、その対策を行なっている。</p> <p>当該分野の取組みについて、引き続き適切に実施されたい。</p>
研究(北方)	A	<p>当該分野について、十分、質保証に取り組んでいると考える。</p> <p>全体的に、各学部大学院・関係部署は、外部資金獲得や、研究活動の不正防止等の計画を適切に遂行している。</p> <p>当該分野の取組みについて、引き続き適切に実施されたい。</p>
研究(ひびきの)	A	<p>当該分野について、各学部大学院・関係部署は、十分、質保証に取り組んでいると考える。</p> <p>特に企画管理課の取りまとめにより、外部資金、学内資金、共同研究、不正防止、各種規程整備に関して、組織横断的に機能している点が、高く評価できる。(点検項目No.20、No.21、No.22、No.23、No.34)</p> <p>当該分野の取組みについて、引き続き適切に実施されたい。</p>
国際	A	<p>当該分野について、十分、質保証に取り組んでいると考える。</p> <p>教職協働のもと、留学を希望する本学学生への支援、ならびに本学への留学を希望する海外協定校の学生への支援が、しっかりと行われている。今後は、北方キャンパス、ひびきのキャンパスに加え、新たに開設される旦過キャンパスを含めた、より体系的かつ戦略的な国際交流の構築が求められる。</p> <p>当該分野の取組みについて、引き続き適切に実施されたい。</p>
学生支援	A	<p>当該分野について、十分、質保証に取り組んでいると考える。</p> <p>学生生活や就職活動への支援がしっかりと行われている。今後は、北方キャンパス、ひびきのキャンパスに加え、新たに開設される旦過キャンパスを含めたより体系的な支援の構築が求められる。</p> <p>当該分野の取組みについて、引き続き適切に実施されたい。</p>
社会貢献	A	<p>当該分野について、十分、質保証に取り組んでいると考える。</p> <p>地域戦略研究所や環境技術研究所など両キャンパスにおける地域企業・自治体などとの共同研究等を通じて地域課題の解決に寄与している。また、公開講座、i-Designコミュニティカレッジ、地域科目の開講を通じて地域が必要とする人材育成を行っている。さらには図書館などの施設開放を通じて地域住民への貢献も行っている。</p> <p>各部局においては当該分野の取組みについて、引き続き適切に実施されたい。</p>
管理運営(教員組織)	A	<p>当該分野については、十分、質保証の改善に取り組んでいると考える。</p> <p>特に教育分野ではデータサイエンス認定制度における「応用基礎」の取得や社会システム研究科のマッチング制度の導入、地域貢献分野における産学連携協定の締結推進等、管理運営の観点からも大きな成果があった。</p> <p>ただし、教員の男女構成比については、一部の学部・学科で女性比率が低い状態が続いている。引き続き教員採用において考慮することが望ましい。</p> <p>当該分野の取組みについて、引き続き適切に実施されたい。</p>
管理運営(事務組織)	B	<p>当該分野について、概ね、質保証に取り組んでいると考える。</p> <p>一方で、不測の事態等が発生した場合を考慮すると、事項によっては、今後できる限り前倒しに計画を遂行する必要があると考える。</p> <p>当該分野の取組みについて、引き続き適切に実施されたい。</p>